

春の高山祭

毎年4月14日・15日開催

春の高山祭（山王祭）は、旧高山城下町の南半分の氏神様として崇められる日枝神社の例祭で、12台の祭屋台が曳き揃えられます。

高山祭 高山祭とは、春の山王祭と秋の八幡祭の総称で、日本三大美祭のひとつにかぞえられています。祭行事は国の重要無形民俗文化財に、祭屋台は国の重要有形民俗文化財に指定されています。

春の高山祭

■屋台曳き揃え

神楽台・三番叟・龍神台・石橋台は中橋西詰めのお旅所前に、他の屋台は毎年指定の場所に曳き揃えられます。

■からくり奉納

お旅所前で、三番叟・龍神台・石橋台によるからくり奉納が披露されます。奉納は14日・15日とも午前と午後の1日2回です。

■夜祭

14日夜にのみ行われる夜祭は、それぞれ100個もの提灯を灯した各屋台が町をゆっくりと巡ります。昼とは異なる幻想的な雰囲気が魅力です。

■御巡幸（祭行列）

神輿を中心に、獅子舞や闘鶏楽、袴姿の警固衆など総勢数百名の大行列が町を巡ります。14日午後に日枝神社を出発し氏子の家々を巡った後、神輿はお旅所で一泊。15日午後、お旅所を出発し、日枝神社へ戻ります。昔ながらの装束も必見です。

【注意】

雨天の場合、からくり奉納・御巡幸・屋台曳き揃え・夜祭は中止となります。また、中止の場合、順延はありません。雨天の場合でも天候によっては、各屋台が屋台蔵に入った状態でご覧いただくことがあります。

- ① 中橋上の屋台
- ② 夜祭（4月14日のみ）
- ③ 龍神台からくり
- ④ 三番叟からくり
- ⑤ 石橋台からくり
- ⑥ 闘鶏楽
- ⑦ 獅子舞
- ⑧ 屋台彫刻（麒麟台）
- ⑨ 御巡幸（祭行列）
- ⑩ 日枝神社

春の高山祭 ● 12台の屋台



秋の高山祭

毎年10月9日・10日開催

秋の高山祭（八幡祭）は、旧高山城下町の北半分の氏神様として崇められる櫻山八幡宮の例祭で、11台の屋台が曳き揃えられます。

祭屋台

動く陽明門とも称される屋台は、春には12台、秋には11台登場します。巧みな人形の動きを披露するからくり奉納や、仕掛けが施された戻し車など、匠の技が随所に見られます。



秋の高山祭

■屋台曳き揃え

9日・10日は八幡宮境内、表参道、各屋台蔵前等に登場します。

■屋台曳き廻し

9日午後に行われる、秋の高山祭だけの貴重な行事。4台の屋台が町を巡る姿が眺められます。4台のうち神楽台・鳳凰台は毎年登場。残る2台は布袋台を除く屋台から交代で参加します。

■からくり奉納

八幡宮境内では9日・10日とも1日2回、布袋台によるからくり奉納が披露されます。2体の唐子が棒を飛び移る離れ技や、布袋様が軍配を一振りする巧妙なからくりが見どころ。

■宵祭

9日の夕方から始まる宵祭。それぞれ100個もの提灯を灯した屋台が町を巡ります。

■御神幸（祭行列）

闘鶏楽、袴姿の警固など伝統の装束に身をつつんだ総勢数百名の大行列が、お囃子や雅楽などを披露しながら町を巡ります。9日は午後に八幡宮を出発し町を巡ります。10日は午前八幡宮を出発し、お旅所を経由して八幡宮へ帰っていきます。

- Ⓐ 表参道の屋台（屋台曳き揃え）
- Ⓑ 宵祭（10月9日のみ）
- Ⓒ 獅子舞（安川通り）
- Ⓓ 櫻山八幡宮
- Ⓔ 見送幕（鳩峯車）
- Ⓕ 布袋台からくり
- Ⓖ 祭提灯
- Ⓗ 屋台曳き廻し
- Ⓘ 御神幸（祭行列）

秋の高山祭 ● 11台の屋台

